

令和3年産米出荷契約

3月中旬から、令和3年産米の出荷契約の受付が管内で行われました。地域ごとに割り当てられた日時に生産者が会場を訪れ、今年栽培する品種や作付け面積、カントリーエレベーターの利用や転作の取り組み状況などを、営農経済部の職員が聞き取りました。

職員は「面積や作付けする場所が変わりはありませんか」「去年この品種を栽培してどうでしたか」などと尋ねながら、生産者が記入した書類を確認して出荷契約を取りまとめました。主食用米の需給状況が厳しい状態が続くなか、加工用米や飼料用米、他品目への転換などについても話し合いました。

今年産米の栽培計画を確認する生産者と職員



安全・安心な農産物づくり推進協議会

3月23日(火)、安全・安心な農産物づくり推進協議会がJ A秋田なまはげ会館で開かれ、生産部会や消費者の代表者、市場関係者やJ A職員などが出席しました。参加者は令和2年度における残留農薬と放射性物質の検査結果や、生産履歴の受付状況などを確認しました。令和2年度に当J Aへ出荷されて検査を行った農産物のうち、残留農薬や放射性物質などの基準値を超えたものはありませんでした。

今年度も引き続き、生産履歴の記帳や農薬の適切な使用への指導、出荷物の検査などを通して、安全な農産物を供給していきます。

生産履歴の取り組み状況や農産物の検査結果を確認しました



NEWS & TOPICS

令和2年度農協特別功労表彰者に京極組合長

令和2年度の農協功労表彰者がJ A全中から発表され、当J Aの京極芳郎組合長が長年にわたって農業協同組合の発展に尽くした功績が認められ、特別功労表彰者として表彰されました。功労表彰者には、県内のJ AからはJ Aあきた白神の佐藤謙悦組合長とJ A秋田しんせいの佐藤茂良専務が選出されました。

全国表彰式が新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて開かれなかったため、3月26日(金)にJ A秋田なまはげ会館で表彰式が行われました。京極組合長に表彰状が贈られ、当J Aの関係者が長年の功績を称えました。

表彰状を受け取った京極組合長(中央)



定期人事異動・新採用職員に辞令を交付

4月1日(木)、辞令交付式がJ A秋田なまはげ会館で行われ、定期人事異動の対象となった所属長や任用となった職員が辞令を受け取り、新年度を迎えて気持ちを新たにしました。

同日に入組した6人の新採用職員にも辞令が交付され、吉田文勝副組合長から受け取ると、配属先での業務開始を前に気を引き締めました。

吉田副組合長は「これからJ A職員として組合員や地域の方々と接していくうえで、笑顔がひとつの武器になる。笑顔を忘れずに若い力を活かして、自分のやるべきことを考えながら頑張ってください」と6人を激励しました。

辞令を受け取る新採用職員

